

意見提出フォームから頂いたご意見（令和８年６月）

NO	学校区	ご意見
1	陶	1. 学校の在り方と人材育成について 小牧市は子育て支援に注力されていますが、将来を担う子供たちには、激動の社会情勢（食料自給率の低下やエネルギー問題等）を自ら考え、解決できる力が必要だと感じています。 地域の豊かな農地や伝統を活かし、『現場での体験』と『探究的な学び』を融合させた、本市ならではの新しい教育モデルを学校の核として据えることは可能でしょうか？ また、そうした教育を支える地域人材との連携について、行政としてどのような支援や期待をお持ちでしょうか？ 2. 新しい学校の特色と市外転入の促進について 少子高齢化が進む中、この地域が選ばれ続けるためには、この土地でしかできない学びの価値を最大化することが不可欠だと考えます。 都市部や他地域から『この学校に通わせたい』と思ってもらえるような、『農と食を基軸とした体験型小中一貫教育』や『地域全体をフィールドとした学び』といった特色ある学校づくりを、市主導のブランディングとして推進するお考えはありますか？ 移住促進と学校の魅力をセットにした具体的な将来像を伺いたいです。 3. 「オーガニック給食・地産地消」に関して これからの新しい学校において、子供たちの未来の健康と食料安全保障を守る視点から、『給食の質の向上』についても伺いたいです。 世界的には環境負荷を抑えた自然農法（菌ちゃん農法など）や、オーガニック給食へのシフトが大きな潮流となっています。しのおか地区にはかつては豊かな農地があり、今はそういった土地が耕作放置されたり、売地となってきています。その土地を活かし、地域の農家や住民が育てた無農薬・自然農法の食材を、可能な限り学校給食に取り入れる『地産地消の次世代モデル』を構築してはいかがでしょうか。 その際、行政としてどのような支援や課題解決（生産量・コスト・供給体制など）が必要だと考えておられるか、また、子供たちが自分たちで野菜を育てる『食育・探究授業』と給食を直結させる仕組みを、新しい学校の特色として積極的に検討いただけないでしょうか？